

令和元年5月24日
たかつき保育園

保護者 各位

＊感染症情報＊

保育園で**感染性胃腸炎**と診断されたお子さんがいます。少しでも下痢や、食欲がないときは休養取り、自己判断せず専門医を受診しましょう。


＊感染性胃腸炎とは＊

＊原因：腸の細菌感染、ウイルス感染などがあります。特にロタウイルスやアデノウイルス、ノロウイルスの感染が多いようです。

＊症状：突然吐くことで始まり、何度も繰り返すうち、少し遅れて下痢がはじまります。（どちらかの症状の場合もあります。）また、発熱や鼻水などの風邪様症状が出ることもあります。

吐き気は、初めの2～3日くらいまでにおさまり、下痢も1週間くらいでよくなることが多いようです。

＊嘔吐、下痢時のホームケア＊

- ◎ 絶食—突然の嘔吐が始まったら、嘔吐が落ちつくまで（約6時間ぐらい）何も飲んだり、食べたりしないほうが良いです。
- ◎ 水分の補給 — 嘔吐が落ちついたら、初め一口飲ませて、嘔吐がないことを確認したら少しずつ飲ませるようにしましょう。
- ◎ 食事— 水分をとっても吐かなければ腸に負担のかからないもの（お粥・うどんなど）から食べましょう。油・脂肪・乳製品・卵製品は避けましょう。
乳児の場合、母乳は欲しがるだけ飲ませてかまいません。ミルクを薄めるかどうかは医師に相談しましょう。
- ◎ おしりを清潔に — 下痢をしているとおむつかぶれになりやすくなります。
かぶれてしまう前に、ぬるいお湯で洗い流し、おしりを清潔にしましょう。
- ◎ 手洗い — 嘔吐や、下痢の手当てをしたあと、よく手を洗いましょう。感染力が強いため、大人や他の兄弟に感染することがよくあります
- ◎ 消毒方法—嘔吐物や便が付着したものは感染の恐れがあるため、塩素系漂白剤（ハイター）で消毒してください。（0.1%500mlペットボトルにキャップ2杯）
- ◎ 登園基準—嘔吐や下痢がよくなり、普通便の確認、食欲がもどってから登園して下さい。（感染性胃腸炎の時は、保護者記入の登園許可証が必要です。）

＊嘔吐や下痢の症状がある場合は、自己判断せず小児科受診して下さい。